

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	仏教学新知識基盤の構築—次世代人文学の先進的モデルの提示
研究代表者	下田 正弘（東京大学・大学院人文社会系研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成30年度
審査結果の所見	<p>本研究は、現在稼働中の SAT-RBIB (Research Base for Indian and Buddhist Studies) を量的にも質的にも拡充すべく、それを発展・深化させた Next-RBIB の構築を目指すものである。とりわけ、その中に漢字テキストをも構造化して取り込もうとする画期的な研究であり、日本の人文学の研究方法にも大きな影響を与える可能性を秘めている。</p> <p>応募者は、SAT-RBIB に連なる人文情報学的研究に関してこれまで高い国際的評価を得ており、本研究でも十分な研究成果を上げることが期待される。これらの点から、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>